

高知県教育委員会 会議録

平成26年度第9回教育委員協議会

場所：高知県庁 正庁ホール

(1) 開会及び閉会に関する事項

開会 平成26年7月22日(火) 18:30

閉会 平成26年7月22日(火) 20:45

(2) 出席委員及び欠席委員の氏名

出席委員	教育委員長	小島 一久
	委員	久松 朋水
	委員	竹島 晶代
	委員	八田 章光
	委員	中橋 紅美
	委員(教育長)	田村 壮児

(3) 高知県教育委員会会議規則第9条の規定によって出席した者の氏名

高知県教育委員会事務局	教育次長(総括)	勝賀瀬 淳
〃	教育次長	中山 雅需
〃	教育次長	永野 隆史
〃	参事兼教職員・福利課長	彼末 一明
〃	教育政策課長	有澤 功
〃	高等学校課課長	藤中 雄輔
〃	高等学校課企画監	坂本 寿一
〃	教育政策課課長補佐	中平 貢正
〃	高等学校課課長補佐	高野 和幸
〃	教育政策課チーフ	溝渕 松男(会議録作成)
〃	教育政策課主任指導主事	葛原 彩子(会議録作成)

(4) 教育委員長の依頼により出席した者

高知南中学校・高等学校校関係者 国際教育振興会代表(3名)
進取会代表(2名)
校友会代表(2名)
保護者代表(5名)

【冒頭】

委員長 教育委員協議会を開催する。

教育長 (あいさつ)

高等学校再編振興に関する、今年度9回目の協議会となりますが、高知南中学校・高等学校の関係者の皆様方とは3回目の会でございます。大変お忙しい中3回にわたってご出席いただき、まことにありがとうございます。

今日の協議内容でございますが、高知南中学校・高等学校の関係者の皆様との2回目の会で、統合の仕方について見直しができないか、より統合が実感できるような案を示せないのかというご意見がございました。あるいは、統合前の最後に入學した生徒に長い間下級生がいない状態が続くことを解消する別の案が示せないのかというご意見がございました。また、統合前の不安を覚える生徒たちへの対応ということで、教育環境の充実についてのより踏み込んだ内容を示せないかというご意見もいただいたと思っております。

本日は、このようなことについて、その後検討させていただいた内容をご説明させていただくということでございます。どうぞ、よろしくお願いします。

【協議 県立高等学校再編振興計画について（高等学校課）】

○高等学校課企画監 説明

○高知南中学校・高等学校関係者 国際教育振興会代表との意見交換

国際教育振興会代表	<p>今日、配られた資料1の高知南中学校・高知南高校と高知西高校との統合の進め方についてという案だが、1ページはどう考えても、高知西高校視点の案である。2ページの別案は、高知西高校視点だったのがばれたか、と、少し高知南中高校にも分をあげようとしている案だと思った。高知南中学校は現在あるので、そのまま高知西高校に行っても良いのではないか。中学校は、もう少し高知南中学校よりのスケジュールを立てても良いのではないか。60人と60人が合わさり120人と、人数は同じかもしれないが、高校に上がったときに、中高一貫という連帯感が子どもたちには残ると思った。</p> <p>次のページだが、「高知南中学校から統合後の高知西高校への進学」とあるが、高知西高校へ進学するのか。統合になったら、名称及び校歌等々変更をお願いしたい。高知市の小学校においても、追手前小学校と新堀小学校が統合し、はりまや橋小学校になった。校名変更のことは、高知西高校の関係者は納得しているのか。統合後も高知西高校になるのであれば、これは合併ではない。会社の合併でも、両方名前を守る。当然、名称、校歌などの変更をお願いしたい。統合しないことがベストだが、今日配られた資料を見て、心のケアも良いが、何か高知西高校主体の案だと思った。今現在、高知南中学校があるのだから、高知南中学校の全員をそのまま統合させてあげたらどうだろうか。</p>
国際教育振	この前の高知南中高校での説明でも申し上げたのに、いまだに「統合後の高知

<p>興会代表</p>	<p>西高校」ということは、高知南中高校を廃校にして高知西高校を残すととれる。そういう考えなのか。まずそれをきちんと伺いたい。統合であれば、対等な統合案を出していただきたい。また、非常に気になることは、高知南中学校に入学した生徒は統合後の新設高校に進学する場合に、選択肢が3つあることである。高知南中学校卒業生だけが学力の選考を受ける。それによって、グローバル教育科に進学できるのかどうか分からない。普通科に進学するにも選考がある。また、言葉としては「他に希望する高校があれば支援する」と言ったが、あなたは学力的にも生活態度も高知西高校にはふさわしくないから、進学させないともとれる。それに一言も触れられずに、あくまでも本人の希望でどこか行きたいところがあれば、それを支援するという言い方は、子ども中心に考えると非常におかしな話である。中高一貫校に入ったからには高校に進学できるのが当たり前であり、対等に統合されるべきものが、高知西高校がレベルが高く、高知南高校がレベルが低いと最初から決めつけて、中学校も全く勉強の内容が違うという書き方だ。非常におかしな統合案だと思う。</p> <p>それから、別案は資料1に比べて後輩がいない時期が短縮されたというが、最終年度は変わらないのではないか。中学校は60名で後がない。高知南中高校の校舎を見たら分かると思うが、とても大規模で立派な建物である。生徒を1年間勉強させるのに、セキュリティの面も、子どもの心の具体的なケアの方法も示されていない。校名に関しては、もし、どうしてもしなければいけないと納得をして統合する場合には、校歌、校名は変えていただきたい。新しいものにしないと、高知南中高校を非常に侮辱したことになると思う。それだけは忘れないでいただきたい。</p>
<p>国際教育振興会代表</p>	<p>高知南中学校は鳴り物入りででき、2期生として子どもが入学したが、進学した高知南高校は全く一般の公立高校と一緒にあった。高知西高校をレベルアップするような案になっているが、高知南中高校を最初からどうしてしてくれなかったのか。しかし、この案でも手ぬるい。高知の中学校は本当に学力が低い。高校も公立学校の場合は、3年間ずっと普通の授業をしているが、私立学校は2年間で終わらせ、後1年は受験勉強をしている。だから、高知追手前高校に行ったとしても、一浪しても高知大学など、そのようなレベルである。であるから、最悪、統合するのであれば、かなりいいものを作ってもらわないと、高知南中高校の二の舞のようなことになると思う。</p> <p>高知南中高校には振興会、進取会、保護者の会などたくさんの会がある。それはなぜかということ、歴史の浅い学校だから皆で守っていこうということである。その横のつながりがとてもすばらしい。私たちも、現役保護者のお母さんたちもたくさん入っているが、そういう方たち、また地域の方、今までがんばってきた先生方、子どもたちが本当にこのことで振り回されている。こんなことであれば、高知南中高校へ入学させるのではなかったという署名をしたお母さんもたくさんいる。どうしても「南」だけでも残してもらえないか。名前がほしいというのではなく、思い出がほしいのである。どうか、皆で痛み分けが</p>

<p>国際教育振 興会代表 委員長 教育長</p>	<p>できるような方向か、もしくは、本来はこんなに良い学校、広い学校で、耐震、免震も十分大丈夫という建設会社の方の意見もあり、湾だからすぐには津波が来ず、しばらく浸水するといわれても授業ができないような状態になるわけは無いと思うので、もし、残せるようなら、そちらの方でよろしく願いたい。</p> <p>先ほど質問した点をまず回答していただいて、まだ時間があるようなので、もう一度言わせていただきたい。</p> <p>わかりました。それでは、3名の方のご意見を伺ったので、その点について。どうもありがとうございました。まず校名の件について、そういう強い思いを持たれているということは、十分承知をしている。高知南中高校の関係者の皆様が校名について強い思いを持たれているということと同様に高知西高校の関係者の皆様も強い思いを持たれている。まず、今回お願いしているのは、校名というのは付随する問題ではあるが、それよりももう少し実質的なところで、どういった形の統合をしてということをご議論いただいた上で、最終的に校名をどうするかについては、両校の関係の皆様がきちんと話すような場を持つことということである。それについてはなかなか、時間がかかる問題だと思うので、そういう形で今後協議をさせていただきたいという考えである。</p> <p>高知南中学校の生徒がそのまま統合後の高知西高校に入ることが当然ではないかというご意見については、高知西高校に併設した中学校の生徒は中高一貫の生徒ということになるので、そのまま上がって行くということになる。高知南中学校の、最終的に60人定員になった生徒については基本的には高知西高校に上がるということを前提に考えている。先ほど、他の高校に進学もということでの話があったが、それはあえて他の学校に進学したいという生徒がいれば、しっかり支援をしていくということである。ここに書いているように学力なり、あるいは行動面等も考慮した上で判断するため、100パーセントかという、必ずしもそうではないかもしれないが、我々の考えとしては極力100パーセントの入学を考えている。それができるように、3年間きちんと指導もしていくという考えである。全く無条件でということについては、高知南中学校は高知西高校の併設校ではないので、高知西高校には他から入学してくる外進生もいるため、そういった方に対しての説明責任も我々にはあり、こういう教育をして、一定の学力なり、生活面も評価した上で、入ってもらうということは、申し訳ないがやらせていただきたい。ただし、基本的には、それで希望すれば、100パーセント入学できるような形には、最大限努力をさせていただきたいという考え方である。</p> <p>地震、津波の問題であるが、基本的に皆さん、今の形で高知南中高校を残してもらいたいというような考えだということを受け止めている。ただ、これについてはこれまで2回、説明させていただいたように、一つは高知市周辺部での高校入学者が減少していく中で、地域全体としての教育力をどうやって確保していくかということでの考えがある。それと、今高知南中高校が置かれている立地条件を考えたときに、確かに耐震化はきちんとやっているの、津波避難</p>
---------------------------------------	--

	<p>場所にも指定されており、一時的に避難する場所としては十分機能すると考えているが、今の時点でいうと、2ヵ月ぐらい浸水が続くと言われている。これについて、これから対策をすることによって、その期間は短縮していくことになっているが、最大の対策を終えた後でも、10日間以上浸水が続く地域になっており、まして、湾に直接面した学校であるので、いろいろ心配されている。例えば、漂流物として船が来るであるとか、あるいは、周辺の津波火災の問題だとか、それらのことから再開ということを考えると、長期間かかってしまうことが予想されるため、やはり統合させていただきたいということであるので、その点はぜひご理解を頂きたい。</p>
<p>委員長</p>	<p>今、教育長から一定の回答をさせていただいたが、またご意見あれば、お願いしたい。</p>
<p>国際教育振興会代表</p>	<p>まず第1点に校名、校歌のことである。統合後に検討と言うが、統合した場合には、絶対に校名と校歌を変える、また、PTAのあり方も討議をして考えるとの場で確約してほしい。高知南中高校は、国際教育振興会、進取会、PTA、OBの組織があり、それぞれが財産を持っている。それを、統合するから全部使ってしまうばいいというものではないし、統合した後どう生かすかも、学校を支援するという視点から見れば、考えなければいけないと思う。統合した後、高知南中高校から来た子どもたち、親、もともと高知西高校にいた子どもたち、親が対立をしかねないのではないかと非常に恐れている。また、高知南中学校から進学した子どもたちは学力が低いと、資料にも書かれているようなものなので、非常にぎくしゃくした生徒間、保護者間になるのではないかと恐れている。これは心のケアなどで解消できることではない。これらも含めて、校歌、校名ということは非常に大事であることを皆さんお分かりだと思う。もし統合をどうしてもするということであれば、今日この場で、統合後は全く新しい名称、校歌の新設高校とすると確約していただきたい。</p>
<p>教育長</p>	<p>言われることはよく分かるが、統合後にと言ったのは、統合の方針が決まった後、最終的に今の案では、35年が統合であり、それまで一定の時間があるため、十分議論、検討する期間があるのではないかとということである。校名等を変えるということの確約をここでということについては、この校名等に関しては、非常にセンシティブな問題である。それは高知南中高校の関係者の皆様も非常にセンシティブに考えているということと同様に、高知西高校の関係者の皆様も非常にセンシティブに考えている。そこを今の段階で、変えるということだけでも、それは高知西高校の関係者の皆様にとって、非常に重大な問題になるため、この場でそれをお約束するのは、申し訳ないができない。</p>
<p>国際教育振興会代表</p>	<p>高知南中高校は学校自体が無くなる。高知西高校は校舎も何もかも残る。校歌、校名は非常に大事なもので、皆さん誇りを持っており、それを無くしたくないのは分かるが、高知南中高校は学校自体が無くなる。その大きな痛みをお分かりにならないか。統合した学校の名前が高知西高校であれば、高知南中高校は廃校になって高知西高校に統合されたと、形は統合だが、今までの高知南中高</p>

	<p>校の形は全く無くなるのではないか。高知南中高校の良さを、と書いているが、高知西高校のグローバル教育の資料を見ると、高知南中高校とは全く学習面のレベルの違う中学、高校を目指しており、今まで高知南中高校で培ってきた何が残されるのかと思う。高知南中高校の先生をそのまま統合する学校へ異動させれば、高知南中高校のやり方というのはできるだろうが、この資料を見ると、高知南中高校のやり方を望んでいるわけではなく、別の種類のレベルの高い中学校を目指している。レベルの高いというのは、学習面だけであって、人格的にどうか分からない。しかし、高知の小学校のレベルが少し上がったと言いながら、全国レベルから言えば、非常に学力が低い。そういう子どもたちが高知西中学校に行くためには、小学校で普通に勉強するだけでは足りないため、絶対に塾へ行くはずである。社会性を身に着けて、郷土を愛すなどと書いているが、小さいときから塾に行って、隣近所のおじさん、おばさんともろくにものを言っていない子どもたちが、郷土を愛すなどというような気持ちを培えると思うのか。学習レベルの高い中高一貫になることに関しては何ら異議がないが、高知の小学校のレベルを考えていただきたい。中高一貫の前に小中一貫校を作った方がもっとレベルが上がるし、自然に高校のレベル全体も上がるはずである。生徒が減るとのこと、また、高知南中高校に関しては、津波の被害が心配されるということは理解できる。最初の会では、高知南中高校は避難場所だというような発言をしたが、子どもの大事な命のことなどを考え、そこを百歩譲ったとしても、高知西高校との統合ではない、他の方法もあるのではないかと思う。</p>
教育長	<p>繰り返しになるが、校名については、非常に難しい問題である。お気持ちは十分に受け止めている。非常に重たい問題だけに、今の時点でどうこうということはなかなか申し上げられない。そこはぜひご理解を賜りたい。</p> <p>また、小中学校のレベルが低いため、そこを上げるのが先ではないかということも言われていたが、確かに以前は低かったが、小学校に関して言うと、この数年間で、少なくとも全国レベル並みには上がってきている。それぞれの学校の関係の皆さんが努力していただいた結果であるが、中学校は残念ながら、まだ全国レベルからは低い状況である。当然、中学校に対しても、最大限の取り組みをしていきたいと思っている。</p>
国際教育振興会代表	<p>せめて高知西高校の保護者会等に「名称変更も視野に入れて」というぐらいの話はしておいてもいいのではないか。何も聞いて無かったと言われたら、ゼロになってしまう。小学校も統合してはりまや橋小学校に名前が変わった。そういう可能性があるというぐらいの話を、今まで高知西高校の方たちとしているのか。</p>
教育長	<p>校名については、県議会でも話させていただいているが、先ほど申し上げたとおり、統合という方向が固まれば、その後、関係の皆様方にもご意見をいただきながら決めさせていただきたいということである。</p>
国際教育振	<p>統合と方向が決まる前に、校名等の変更もあるということも言ってあげないと</p>

興会代表	理解できない。都合のいいことしか考えないと思う。
国際教育振 興会代表	一番面倒なことから逃げて、話を進めるということはとても卑怯なことだと思う。子どもたちは「高知西高校を大きくするために高知南中高校が犠牲になる」というように言っている。そのような投げやりな政策をされたら、本当に困る。一番難しいことから進めていかないと前へは進んでいかないのではないかと。
教育長	校名について、皆さん、強い思いを持たれているということはよく分かる。高知西高校の関係者の皆さんもたいへん強い思いをもたれている。私が今申し上げることができるのは、統合という方向が固まれば、その後議論させていただきたいということである。校名が決まらなると、そもそも、統合の話ができないというご意見もあるかもしれないが、そこはやはり物事の大小ということもあるのではないかと考えている。我々としては、高知県の高校の教育環境の充実のために、どういう方策をしていけばいいのかという考えで案を作成させていただいている。校名については、政策論とはまた別の、それぞれの関係者の皆さんの思いなどが大きな要素を占めると思うため、我々がこの時点でこの方向でなどということは、なかなか申し上げにくいことを、ぜひ、ご理解を頂きたい。
国際教育振 興会代表	ものすごく基本的な質問だが、統合が白紙に戻る可能性はあるのか、無いのか。統合が白紙に戻ることで、政策上無ければ無いとはっきり言っていただきたい。無いのであれば、どのように統合するかという方向で考える。これまでの話では、時と場合によっては統合が白紙に戻るような話しぶりだったので、そのところを、はっきりさせていただきたい。
教育長	我々としては、今の形で統合をぜひさせていただきたいということである。
国際教育振 興会代表	はっきりと言っていたかないと分かりにくい。統合するという回答と受け取ってよろしいか。質問は、白紙撤回があるかないかということだったので。
教育長	現時点で、白紙撤回という案は考えていない。ぜひ、今回お示した案で統合させていただきたい。
委員長	いろいろご意見をいただきました。主張される点もよく分かっているので、今後いろいろな形で検討を進めていきたいと思う。どうもありがとうございました。

○高知南中高関係者 進取会代表との意見交換

進取会代表	<p>別案の左に「入学時に高知西高校併設中学校に準じた選考を行う」とある。高知南中学校は今、選考を行っているが、高知西高校の併設の中学校になれば、また違う形の選考をするととらえてよいか。何かバージョンアップするような、グローバル教育に適した生徒を選ぶという、今までの高知南中学校の入学選考とは違う形にするのか。</p> <p>その下の「学力の定着状況を検査した上で、高知西高校普通科に進学する」ということは、グローバル教育科があるが、同じ選考をやっても、高知南中学校を卒業して高知西高校へ行った場合、普通科しか行けないというような図に見えるがどうなのか。</p> <p>また、高知南中高に期待できる効果の一つ目に、「たたき台の4年間と比較すると生徒への影響が少ない」とある。影響が少ないということは、影響があるということを逆に言い表しているのではないか。それではなかなか、保護者としては納得いかないのではないか。平成30年から高知西中学校の中1が60名、31年に中2が60名、ここで合計120名。32年になってやっと180名という形である。高知南中学校を平成14年に立ち上げるときに、ちょうど子どもが在籍しており、大変だったことを思い出す。高知南中学校1期生の保護者の方もここにいるので、これまでもその辺の思いを言わせてもらったと思うが、生徒への影響はこの形の統合では非常に大きいのではないか。須崎高校と須崎工業高校の資料をいただいたが、これは31年に一度に統合する形を提示している。最初に高知新聞で閉校と出て、それから何度も、統合か、閉校かという質問をし、「統合」と聞かせていただいたと思う。この案だと、やはり、「比較すると生徒への影響が少ない」ということは、影響があるとみなしていると私は思う。それならば、須崎高校、須崎工業高校と同じように、同時期に一緒になるような形を、ぜひ委員の皆さんに考えていただきたい。それが高知南中高の全卒業生と保護者の皆さんの意見ではないかと私は思っている。進取会と言っているが、高知南高校の設立の時に、進取という校訓をいただき、いろいろな時に、進取という言葉を使っている。これらの資料で見て、坂本龍馬のような形で次の時代を取っていくというように、高知南中高は進取の校訓で先んじて閉校になるのかとか自分なりに思ったが、やはり「統合」という基本的なことに戻っていただきたい。委員の皆さんには、再編振興計画という大きい高知県の流れを変えていただくということを、自分もある程度理解はしているつもりであるが、この高知南中高と高知西校の統合というのは非常に大きい痛みが出てくるので、やはり、同時期に一度に統合という形でないで、納得がいかない。また、教育長から何回か答弁があったが、校名については、合併後にということでは高知南中高は28年の歴史、高知西高校は57年ぐらい。そこで話をしなさいと言ったら、だいたい押し切られるという不安を皆さん持っており、私も危惧しているところである。1万8千人ぐらいの署名も集めてくれた現役のPTAの方々も、一度に統合していただけないかという思い</p>
-------	---

	<p>である。</p> <p>もう一つ、補足説明の資料2の統合が決まった後の取組の計画で、いろいろケアを書いているが、もし、パブリックコメントが進んで統合が決定的になれば、来年の入学者数に非常に影響があるのではないかと。予想以上の定員割れなどということはお考えなのか。その対策等もしっかりあるのか。その辺をご回答願えたらと思う。</p>
教育長	<p>須崎高校、須崎工業高校と高知南中高校、高知西高校との統合が決定的に違うところは、須崎の2校場合、基本的に同じ定員がそのまま統合になるという形である。ただ、高知南中高校と高知西高校との統合については、定員を削減した上での統合ということになるため、須崎高校、須崎工業高校と同じような形での統合は難しいということについては、ご理解を賜りたい。</p>
事務局	<p>別案に記載している選考についての質問があったが、具体的な選考方法については、今現在ははっきり決まっているわけではなく、若干の変更もあるかもしれないが、今後検討しながら進めていきたいと思っている。ここで、明確にバージョンアップするといったことはお答えできかねる。ご了承いただきたい。</p> <p>高知南中学校から普通科にしか進めないのかという質問があったが、基本は普通科に上がっていく前提での入試の選考方法ではあるが、グローバル教育科に進みたいという生徒がいた場合、揺り動かすことも考えながら、今後、進学の仕事も検討していきたいと思っている。</p> <p>それから、たたき台と比較すると影響が少ないというのは、影響があるということではないかとのことだが、影響が全く無いとは考えていない。当初のたたき台案では下級生がいない期間が4年間であるが、2年間に減るということで、少しでも生徒への負担が少ないのではないかと案で示させていただいているため、影響が多少は残っていると考えます。</p>
教育長	<p>確かに影響はある。来年度以降の入試がどうなるかということについても心配している。補足資料2は、ある意味のマイナス面があることは否定できないので、そこをできるだけ、教育環境を充実することによって補い、さらに上回るくらいの効果を出したいという意気込みでやらせていただきたいということである。我々としては、本当に思い切った教育環境の充実策をとって、心配される点に対応していきたいと思っている。</p>
進取会代表	<p>思いは、同時に統合ということと校名の2点に絞られると、自分の会としては思っている。このまま行けば、統合ではなく閉校だったのかと思うことが否めないような気もするが、後の方もいるので、この辺で意見は終わりたいと思う。ありがとうございました。</p>
委員長	<p>どうもありがとうございました。それでは、続いて、校友会の方をお願いします。</p>

○高知南中高関係者 校友会代表との意見交換

校友会代表	<p>今回、校友会の方から「高知南高等学校校友会 意見及び質問事項」という形でまとめたものを持って来ている。配らせていただきたいが、よろしいか。</p> <p>同じような内容の質問がかなり多い。ずっと続けて来て、今日は、はじめに国際教育振興会の方から始まって、進取会になって感じたのが、肝心な部分が全然説明されていないから同じような質問が何回も何回も出るのだと思う。また同じような質問の内容にはなるが、校友会は1万人以上の会員がおり、その意見だと思って、再度確認させてもらいたいこともあるので、よろしく願いたい。</p> <p>質問事項の前に、今日配られている資料に関してだが、今日の別案の「基本的に高知西高校普通科に進学する」、高知南中学校の生徒が「基本的に」という言い回しだが、こういうところがすごく気が利いている。ただ、「高知西高校」という名前がすでにここで使われている。高知西高校の関係者が見たらどう考えても、高知西高校のままに行くという話になると思う。そういう、細かいところの文章が全部放置されたままで、常に出て来るのが、後から指摘されたら、ここに「基本的に」と書いてあり、高知南中学校の生徒が全員高知西高校に上がれるわけでは無いのだということはあるが、そういうところにだけ気が回って、資料の校名が高知西高校になっている。これを高知西高校の方が見たら、やはり高知西高校なのかと思うのではないか。この会で違和感があるところはそこだと思う。あと、「統合」「統合」と言われているが、大栃高校も統合である。山田高校に統合ということで聞いている。しかし、あれは県民、皆、統合とっていない。</p> <p>では、「高知南高等学校校友会 意見及び質問事項」に移らせていただく。「1. 南高校の卒業生としては、母校が無くなるということは耐え難いことであり、寂しい気持ちでいっぱいである。できることであれば、白紙撤回してほしいが、安全上の理由というならば、移転もやむなしと考えるが、現状のままでは南の閉校案としか受け取れない。南高、西高両方の卒業生がお互いに母校と言えるような統合案ではない。2. 校名、校訓、校歌、制服は卒業生として何とか残して欲しいものである。現状の案では、その大切な物たちがすべて、南中高校からのみ奪われてしまっているようにしか感じられない。3. 移転としての統合というのであれば、校名を新たなものとしてほしい。校名変更は統合案が決まってからという返答を聞いているが、卒業生としては学校名がなくなるだけでもショックなのに、統合とは名ばかりで、統合後に西高校の名前しか残っていないのでは到底納得できない。統合と校名変更は別問題ではなく、南高校という名前をなくすからには、西高校の名前もなくし、新しい校名にすることを前提とし、またそうすることを確約し、明文化して欲しい。」ここの「南高校という名前をなくすからには西高校の名前もなくし、新しい校名にすることを前提とし、またそうすることを確約し、明文化して欲しい」というアンダーラインのところだが、ここは確約を取ってきてもらいたいと、私は言われている。</p>
-------	--

教育長	<p>お願いできるか。</p> <p>これまでお話をさせていただいたことと全く同じになるが、校名については、皆さんの思いも、十分理解させていただいている。一方で高知西高校の関係者の皆さんからもそういった思いを聞かせていただいている。この時点で、校名について、変えるということであったとしても、なかなか申し上げるのは難しいということをご理解を頂きたい。</p>
校友会代表	<p>これは理解できない。思いを汲むことも私たちはできない。文書で配っており、時間もないため読まないが、質問事項の8に書いているように、協議会の場でなくてもいいので、高知南中高校、高知西高校の両者が同じ立場で統合案の説明を聞きたいという意見をもらっている。どう考えても、統合ということ自体が高知西高校でのニュアンスと高知南中高校のニュアンスがかなり違っているが、高知西高校でも同じ説明をしているのか。</p>
教育長	<p>基本的に同じ資料で説明させていただいている。</p>
校友会代表	<p>その資料がこういう形で、高校の名前は高知西高校という形で全部出ているのは、あまりにも配慮が無さ過ぎないか。この説明会を同時に開くということは可能なのか。</p>
教育長	<p>校名を決めるということに関しては、両校の関係者が一堂に集まっていたいで、話していただくということを考えている。言われているのは、今の段階での話か。</p>
校友会代表	<p>今の段階で高知西高校に校名が変わる、変わらないという話自体が一切無いというのはおかしいと思う。統合ということであれば、当然そういうことがありうるということだけでも伝えておかないと、「統合が決まりました、統合しましょう、後はお互いが話し合っ」ということにはならないだろう。</p>
教育長	<p>今申し上げられるのは、高知南中高校の関係の皆様から校名についてそういった話があるということと、校名については、統合が固まればその後両校の関係者の皆さんを集めて議論をさせていただきたいということである。</p>
校友会代表	<p>この質問事項の19だが、以前私たち校友会の意見に対して、「頭の体操」という答弁があった。すごく、私たちはショックだったが、頭の体操だったら考えられるのにとかいう言葉があったが、ここに書いているとおりだと思う。「頭の体操以下の話しか提示されていない」と。10年後、20年後のことを考えるのであれば、もっといい案を出してもらいたい。</p>
教育長	<p>頭の体操というのは、どういう場面でお話をさせていただいたのか、記憶に無いので、それでお怒りということであれば、私が発言したのであれば、お詫びしたいと思う。</p> <p>先ほどから、校名についてそれぞれ関係者の皆様からお話をいただいている。繰り返しになるが、確かに校名については皆さんの強い思いというのは十分分かる、十分分かるが故に高知西高校の関係者も一方にいるので、予断を与えるような話にはできない。我々としては、きちんとした場での議論をさせていただくということである。統合の方針が固まれば、そこは議論させていただくとい</p>

	うことと、高知南中高校の関係者の皆さんがそういった強い思いを持たれているということについては、高知西高校の関係者の皆様にもきちんとお伝えをするというところで、ご了解を頂けないか。校名が決まらないと前に進まないではないかと、統合の是非自体を判断できないではないかということについては、我々としては少し違うのではないかと考えている。
校友会代表	私たちがすごく疑問に思っていることは、その部分を伏せたまま高知西高校の方に統合という話を持って行っていることである。統合なのに、そういうことも当然視野に入ってくるということを言わないというところである。そのうえ、資料が全てこういう形で出てきたら、誰もが名前はそのままだと思ってしまうだろう。
教育長	校名については、県議会でも、先ほど申し上げたような形でお答えさせていただいている。須崎高校、須崎工業高校についても同じようなことで、言わせていただいている。統合の方針が固まった後に、議論させていただきたいということで、お話をさせていただいている。それは全く同じ形で話をさせていただいているということである。
校友会代表	先ほどから聞いているが、校名のこと云々というよりも表題に書かれてある「高知南中学校から統合後の高知西高校への進学案」等という書き方をされると、高知南中高校の名前は無くなって、高知西高校の名前のみ残るという表現なので、これを例えば、(仮)とか、「統合後の高校」とかというような書き方をさせていただくと、こちらとしても校名、校名というような表現が出てこないと思う。いろいろな資料を拝見させていただくと、「高知西高校への進学」とか、「統合後の高知西高校」というような表現ばかりをされると、こちらとしても、いつまでたっても「西」足す「南」は「西」になるんだなという考えしか残らないので、資料を作る際にも、少し配慮をしていただいて、「仮称」とか、「統合後の高校」とかというような表現をしていただけないか。それを、私どもはお願いをしたい。
教育長	資料の表現については、検討させていただきたい。
校友会代表	検討というのはどういうことなのか。資料のこの書き方で、皆様は、これでいいと思って出しているということなのか。
教育長	現時点でどういった形でということを上上げることはできないので、検討させてほしい。
校友会代表	今後出て来る資料に関しても、こういう形で配られて、これを高知西高校が見て、高知西高校になるのだと受け止めても、問題無いと考えているということでもよろしいか。
教育長	いろいろ、そういったご意見もいただいているので、我々としても受け止めて検討させていただきたいと思う。
委員長	他に質問はないか。
校友会代表	ありがとうございます、結構です。
委員長	どうもありがとうございました。最後に保護者の方をお願いする。

○高知南中高関係者 保護者代表との意見交換

保護者代表	<p>質問する前に、一つ言いたいことがあるのでお願いしたい。</p> <p>先日、高知新聞に「閉校」という記事が出てしまった。私たちは、「統合案」ということを県教育委員会から聞いており、そう考えていたので、あの「閉校」という記事が出たのはびっくりしたが、教育長、課長の迅速な働きかけによって、また高知新聞の方もあれは間違いだったということで、すばやく、統合案という形で訂正していただいた。子どもたちは、少し心配だったようだが、なんとか、訂正記事を見て落ち着いたので、今回の処置についてはお礼を申し上げます。</p> <p>改めて、今回のことについて再度確認するが、この再編計画については、高知南中高と高知西高校の統合という形で理解して、話をさせていただいてよろしいか。それでは、その統合という形について、検討させていただく。</p> <p>今日のこの案について、確かに、前回と比べてすごくいい案になったと思う。こちらの方から質疑させていただいた内容をある程度盛り込んでいる。内容的にはまだまだ疑問を残すところはあるが、ただ、当初の案に比べると、子どもたちのことを考えた案という形にはなっている。これについてさらに議論し精査し、また内容を深めてもっとよい案を作っていくということは、これまで説明して、質疑してきた委員の皆様方も同じ意見だと思う。特に、八田委員はもっと高知の教育は考えるべきだと言ってくださったので、これについてはまた議論をしたいと思っている。</p> <p>この中で、疑問点を具体的に話したいと思う。まず、内容について先に議論させていただくが、今回案では、高知西高校があった場所に新設される中高一貫校に、平成 30 年から中学生が入学し、高知南中学校も同じく平成 30 年から 60 人が入学するということであるが、これは同じ中学生である。高知市内の小学校 6 年生が中学校に進学し、片や高知南中学校、片や高知西高校のあった場所の新設された中高一貫校に入学するということは同じ条件だと思う。その中で、この補足説明資料 1 で、高知南中学校については全員が英検 3 級、半数は準 2 級。高知西高校だった場所に新設された中学校については全員が英検 2 級。これは同じ県立中学校生としては、少し差が出てくるのではないかなと思う。たまたま高知西高校のあった場所に新たにできた中学校に入った子どもと高知南中学校に入学した子どもは、全く同じ条件である。ならば同じレベルで、同じ目標を持って教育をするというのが本来の姿ではないか。その流れで行けば、今回出された資料にあるように、高知南中学校の生徒は、いろんな審査を受け、いろんな条件がありながらも、高知西高校のあった場所に新たに新設された中高一貫校の高校へ入学はできる。また、高知西高校のあった場所に新たにできた中学校の生徒についても審査を受けながら、新たな中高一貫校の高校に進学できるといった形になるのではないか。そういったところからまず、この目標設定が少し検討されるべきではないか。そして、何よりも、この 2 年間の生徒数の少なさ、ここがまだ疑問に残るところではある。やはり下にい</p>
-------	--

ないということはクラブ活動もなかなかままならない。かといって、元高知西高校のあった場所に新設された中学校に1年生が入学したときに、1年生だけで果たしてクラブ活動や学校生活できるのであろうか。また我々の経験として、高知南中学校ができたときに上に一人もいなかったが、進取会、国際教育振興会が苦勞して中学生を取りまとめ、高校生との間でいろいろとすったもんだしながらも、やっとの思いで保護者会なり学校生活を送ってきた経験がある。ここがものすごく重要なことではないか。高知西高校のあった場所に新たに新設された中学校の1年生だけ。これはやはりきつい状況ではないか。それがましてや60名。高知南中学校は当時240名で入っていた。240名というところと60名。大きな違いである。30名学級にすれば8学級が2学級にという差になってしまう。目標にしていることをやる時には、もう少し考えないといけないのではないか。だからこそ、この2年間の空白を作らない形をもう一つ提案できないか。

それと、一番大切なものは何なのか。確かに校名や校歌も非常に大切だと思うが、一番は教育方針ではないか。高知県としての教育のあり方、これからの中高一貫校をどう捉えるか。そうしたときにこのような考え方はいけないのではないか。ただ、校名、校歌というのは非常に大切な問題ではある。先ほど教育長からも今回の高知南中高校と高知西高校の場合と、須崎高校と須崎工業高校の場合は違うといったが、須崎の検討案については平成27年度からソフト関係として、教育課程の策定や校名、校歌、校章等という形で、検討過程を2年間設けている。やはり、統合して新たな中高一貫校を作るにあたっては、このようなスケジュールを組む必要があるのではないかと思う。それがあって、この新たに目指そうとする、グローバル教育に対応し、国際バカロレアに対応した新たな中高一貫校ができるのではないかと私は思う。

もう一つ、教育長が地震の問題でも言ったが、浸水で2ヵ月という話が出たが、これをとやかく言うことはしない。実際問題そんなにならないという形で知事もいろいろ対策を進めているので、この辺については分からないことは分からないという形で済ませていただければ、私どもの方は構わない。ただ、一言、高知南中高校についても34年度まで子どもたちがいる。そのため、地震対策については100パーセントとは言わないが、今後、県の災害対策に関する部署と十分密に連携を取りながら、県教委としての提言をどんどんしていただきたい。無茶なことも言ってほしいと思う。例えば、今、大きな堤防をつけると言っても、予算的なことで無理である。ただ、先ほど言った、船が来るといふ問題があれば、せめて杭を立てるとかでも構わない。とにかく今後も働きかけていただければと思う。

今回出された補足資料2の方の、高知南中高校に対するフォローの仕方については非常にいいことだと思う。ここまでのフォローをするのであれば、来年度から高知南中高校はもっといろんな形でチャレンジをしたらどうであろうか。30年度から60名にするのではなく、来年度からでもいろいろな形でもっとよ

	<p>りよい教育方針を取って、事務局の方には努力していただいて、とにかくアップする、今まで以上にフォローする。それによって、33年を起点に高知西高校があった場所に併設される新設の中高一貫校との差が詰まるのではないかと。高知南中高校をレベルアップすることによって、全体が底上げになる。高校の時点でも底上げになる。そうすると高校自体も、これで空白の2年間が無くなるのではないかと。全員が全員、200名がグローバル教育科という形は考えない。ただ、何らかの試験などは考えてもかまわないと思うが、全体のスケジュールを考えて、いろいろな方向性からこの2年の空白を無くすというのがベストな方法ではないのかなと。これは事務局や、その他皆様方にご苦勞をかけるかもしれないが、何卒検討していただいて、ベストな案をたたき出していきたい。</p>
教育長	<p>英検について、高知南中学校と高知西校高校併設校とで差があるとおかしいのではないかとというお話であるが、基本的に高知西高校の併設中学校というのはグローバル教育科ということで、英語力について、強く求められる学科に進学をする前提であるため、特に中学校段階で英検の準2級をとということであり、学力云々とはまた別で、進学する学科の違いによって、高知西高校の併設中学校については準2級が必要ということと考えさせていただいている。</p>
保護者代表	<p>全体で考えれば、基本的に高知南中高校と高知西高校が統合するわけなので、基本的には同じレベルのスタンスで中学生は入って来るはず。この案で確かに高知南中学校に入った子がそのまま普通科という前提条件でもいいと思う。先ほど説明があった試験を受けてということであれば、それは試験を受けてやればいいと思う。しかし、教育の仕方は、県として同じ考え方でやっても、それほど支障の無いのではないかと。高知南の中学生も、新設される中高一貫校の高校に進学するわけである。元高知西高校にあった場所に新設された学校の中学生も、高校生になるときは高知西高校にあった場所にある新設された高等学校へ入学する。そう考えると、この2年間というものがうまく埋まるのではないのかということを行っている。具体的に一緒にどうこうではなく、その2年間の教育方針を考えていただければ、この空白となる2年間を埋める、何かいい案があるのではないかとということである。</p>
教育長	<p>空白を埋めるといって、高校段階についても統合後の学校の生徒という位置づけという主旨か。</p>
保護者代表	<p>私が先ほどからずっと言っているのは、その主旨に統一するのではないかとということである。今のままだと、他の方からもあったが少しぶれているのではないかと。ただ、僕の言った意見だと一貫して、新設された中高一貫校への一つの軌跡であるので。検討していただきたい。</p>
教育長	<p>ご提案なので、検討させていただきたいと思う。浸水について万全の地震対策をということであるので、どういったことが考えられるのか、なお担当部署にも相談させていただきたいと思う。統合に向けてのスケジュールなどについても明確にという、それは先ほどからお話しさせていただいているように、統合</p>

<p>保護者代表</p>	<p>という方向が固まれば、実際の統合に向けての議論はスタートするということになると思うので、それはスケジュールとしては考えているため、資料の中でどう出すかについてはまた検討した上でお示ししたい。空白のことについてはご提案ということで、検討させていただく。来年度から高知南中高校のフォローについてもっとチャレンジにできないかということについても、なお検討させていただきたい。</p> <p>統合となれば、6月3日の資料にある須崎高校と須崎工業高校の姿についての案のような統合であれば、1万8千人の署名を背負っており白紙撤回が前提ではあるが、まだ納得できると思う。先ほどから、皆さんが言われているように、校名、校歌がどうなるのかが一番気になる場所である。今、夏の甲子園の県予選をやっているが、昨日春野球場に応援に行き、高知南高校が須崎工業高校に勝ったが、校歌が流れるときはちょっと涙がぽろっと出た。一生懸命やっている子どもたちを見ると、やはり校歌、校名に対する思い入れというのは当然あるわけで、家内がこの発表があったときに、合併して高知西高校のところに行くのは仕方ないかもしれないが、校名は高知南高校、高知南中学校にしてもらいたいという話をしたこともあった。「南」というものをどこに残すのかということが皆さん気になる場所で、残らなければ統合ではないのではないのか。この須崎工業高校と須崎高校との案の中にあるように、できれば一度に統合してもらいたい。先ほど、高知南中高校は縮小統合だが、須崎は違うという説明があったが、須崎の方も1クラスずつは減る。4クラス4クラスの8クラスあったのを6クラスにし、定時制と合わせて7クラスという案のようだが、こういう形が取れないものか。こういう統合であればまだ皆さん検討の余地があるのではないのか。その中で、手前に計画の中に教育課程の策定、校名、校歌、校章等の検討ということも当然組み入れて、それを提起して検討していくというのがベターではないか。校名、校歌については非常に敏感な問題だからと言われるが、高知南中高校にとっては閉校はもっと敏感な問題である。それも1月の終わりに発表されて、非常に神経を逆撫でされている状況で、高知西高校以上に敏感になっているということも汲み取って発言してもらわないと、おかしな話だと思って聞いていた。高知南中高校は鈍感で高知西高校は敏感だと思えるような発言にとれた。</p> <p>それと2月県議会のテープを見たが、前教育長が県立高等学校再編振興に関する報告をもとにして、今の再編計画を新しく立てていると答弁しており、ずっとそのような流れで聞いているが、今日話を聞いていても、報告との整合性がどこにも見出せない。津波対策云々と出ているところだけなのかなと1行か2行だけが関連してあとは統合案にあまり整合性がない。これにのっとってやっていると言っていたので、2年もかけて何十人もが何十時間もかけて作ったものと整合性のある統合案を出して来てもらえれば保護者もOBももう少し納得できるのではないかと思います。この中で、中高一貫校は今後も中央に残すべきだし、継続して選択肢としてやっていくべきだという件もあ</p>
--------------	---

<p>教育長</p>	<p>る。少し分からないのは、7ページに「中央部では中学校と高等学校を併設する学校は複数あることから」とあるが、これは私立学校のことを言っているのか。機会があればこれも教えてもらいたい。私立高校もこの県立高等学校再編振興に関する報告の中に数えて話を入れているのかというのも少し疑問があるところだ。とりあえず今日はなるべく頭をクールにして話そうと、思いついたことを言わせてもらった。ありがとうございました。</p> <p>校名のことについては、これまでもお話をさせていただいているので、繰り返しは遠慮させていただきたい。</p> <p>須崎高校と須崎工業高校と同じやり方ということについては、須崎の場合は須崎高校と須崎工業高校があって、そのままの定数をベースに統合するということであるので、そこはどうしても違いがあることはご理解いただきたい。校名等については、統合が固まればその後議論させていただきたいということでは話していないので、そこは決して違いは無いということをご理解をいただきたい。</p>
<p>保護者代表 教育長</p>	<p>スケジュールと須崎の資料には書いている。</p> <p>そのような形で、資料に示していないということについては、先ほども話があったので、また検討させていただくが、内容的には特に違いがあるとは思っていないので、ご了解いただきたい。</p>
<p>保護者代表</p>	<p>検討会の報告書と今回のたたき台の整合性が無いのではないかとことだが、具体化をするにあたって、より細かくなっている部分はあるが、大筋のところでは報告書から離れているとは考えていない。中高一貫校を残すことについても、その方向で今回案としてお示ししていると考えている。</p> <p>この再編計画のところで、1カ所だけ前教育長との意見を比較してお伺いしたいが、適正規模について4から8学級と書いている。これについては中央地域では6学級が望ましいという前教育長の意見だが、現教育長のご意見も同じととらえてよろしいか。偶数のクラスの方が好ましいという話も一緒か。6、8、4という方が学科の編成でやりやすいという答弁をいただいたことがあるが、現行、高知小津高校も高知西高校も高知工業高校も高知追手前高校も7クラスだが、そこは整合性が今取れていないのはどうしてなのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>偶数の場合に習熟度という考え方をするときには2クラスを3つに分けるという考え方でいくと、6学級であれば、2、2、2を3、3、3に分けるという、習熟度という視点で考えたときに、偶数クラスの方が展開をしやすいという意味で説明をさせていただいた。</p>
<p>保護者代表 事務局</p>	<p>別に7でもかまわないということか。</p> <p>高知西高校、高知小津高校については1学科、理数科あるいは英語科があるので、普通科で言えば6学級で、習熟度の展開のしやすい学級数である。絶対偶数でなければだめ、奇数では習熟度ができないということではないが、より、教員の数と習熟度の展開の仕方がうまくいきやすいということで、ご説明させていただいたのではないかと。</p>

保護者代表	その辺りも、県立高等学校再編振興に関する報告に出て来ているので、こんなに一生懸命作ったものだから、もう少し生かした方がいいのではないかと思います。検討よろしくお願ひしたい。
保護者代表	先日、高知会館で協議会があったときにもお話をさせていただいたが、僕たちは白紙撤廃ということが前提であるが、それだけでは話が前に進まないということで出口のある話し合いをしよう、そしてゴールが見えればいいということが前の話だったと思う。その中で会長と私の方から、一斉にボンと変わるのはどうだということで案を出して、今回の案が出ている。今日の話し合いを聞いていると、どうも前に進みそうにない。全部が考えさせてくれ、待ってくれ、分かった、それだけでは全然、前に出口が見えるような話にはなっていない。教育長も津波対策の浸水の期間に関して他では違う数字が出ているということも勉強をしていないみたいであるし、もっと話し合いを前に進めるような手立てでやっていかないと、何回こういう会を開いても一緒である。例えば校名にしても、決定してからでないといけないというのであれば、今までの2年間は何だったんだということになる。もう少し返答してほしいと、今日の会で思ったが、もう時間が無いようなので、次に行かせていただく。
保護者代表	6月の県議会のときに、教育長などもいて、いろいろ話をしているようだが、まずは高知西高校周辺の中学校の生徒が新しい県立中学校に入学することで、地元の中学校に問題が起こるのではないかとといった心配の声があることにに対し、「地元の高知市内の中学校については、高知市の教育委員会と連携をしながら、教育内容の充実を図ってまいりたいと考えている、こういったことについては高知市の教育委員会と定期的な連絡会も開催している」とあるが、一応校長会の方でいろいろな話は出ているが、その後具体的な話はまだ全然していない。私も西部中学校PTAの執行部もやっているが、西部中学校の校長に対して一つもそういう話が無いので、県議会でこういう発言もしているのであれば、しっかり話をしてもらいたい。 一方、この会は8月で打ち切ると聞いている。8月の協議会で一旦話を止めて、9月に予算を出すというスケジュールを、全部の議員に回って確認を取った。予算を取るのは勝手だが、補足資料2に出ている高知南中高校充実の案でスポーツにしても指導者を入れるとか、いろいろ書いているが、高知西高校の方で予算を9月に出すのであれば、高知南中高校の方でも議会に予算の案を出してほしい。8月で打ち切るようなことはしないでほしい。 校名については教育委員会の委員とか、そういう中で作るものではないと私は聞いた。高知南中高校の関係者、校長、高知西高校の校長、関係者の方たちと新しく作る学校のメンバーで校名、校歌、制服も検討して作らなければいけないと聞いている。こういうことはきちんと出せばいいと思う。この前の会で八田委員が私立にも負けない、いい学校をつくるところで言っていた。新たな高校をつくると。全然違う学校をつくるといえば、やはり吸収合併のようなやり方をせずに、高知南中高校も泣く、高知西高校も泣いてもらう、教育委員会の

案もいろいろ変えて泣いてもらおうと私は思っている。泣いた上で、もっといい新しい学校をつくるべきではないだろうか。校名などにしても、今はそういう言い方しかできないのは当然である。あなたたちで決められる問題ではないので。その上で、今の高知西高校と高知南中高校の関係者の話し合いをして、学校の名前にしても、制服にしても決めるといことは発言をしないとイケないのではないかと思う。また、今の中学生が進路を決定する、10月、11月のことを言っていると思うが、問題だとか、あるいは「いたずらに延ばせないような事情もある」という発言をされた。この、いたずらに延ばせない事情というのも、私は聞きたい。「とは言いながらも丁寧に議論していくということはたいへん大事だと思うので、見切り発車することなく、丁寧な議論はしていきたいと考えている」と県議会でも発言しているため、まだこれからどうしなければいけないかというきちんとした話し合いが必要な8月の段階で協議会も打ち切って、9月からは高知西高校とも高知南中高校とも話ほししないような方向性はやめていただきたい。もう一つは、英語、英語と言っているが、英語で大学に行けるわけではないので、英語よりもきちんとした他の5教科等のレベルアップをし、普通科もきちんとした形にしなければいけないと思っている。あまり英語ばかりを前面に出してつくるというのも、いかがなものかと思う。また、そういうこともきちんと考えてもらいたいと思っているので、9月に予算を取らなければいけないから急いでやらなければいけないということも分からないでもないが、予算を取るの勝手を取ってもらってかまわないが、高知南中高校に特化する分の予算を一緒に9月議会にあげてほしい。そして、話し合いを9月にも、10月にも、11月にも、まだ、1年、2年で終わるような学校ではないので、何年もスパンが長いので、きちんとした話し合いを持って、何とか高知西高校も高知南中高校も納得がいくように随時会議は開いていていただきたいと強く願っている。よろしくお願ひしたい。

保護者代表

この資料は2ヵ月ほど前に、池上彰先生が執筆された本である。その中に、教育の問題についていろいろ書かれているが、統廃合の話、少子化に対する件があるので、その部分だけ話をさせてもらいたい。この池上先生の資料によると、全国で少子化対策として、中高一貫教育の学校をどんどんつくっている。東京都はあれほど子どもがたくさんいるのに、なぜかと思うが、特にやっている。島根とか、いろいろな地方でも、かなり中高一貫を中心に少子化対策としてやっている。この本には、少子化対策として、全国で中高一貫をつくる目的もきちんとして書かれている。前回の質問でも話をさせていただいたが、高知県の場合は私立学校、明治大正の時期から土佐、土佐女子があり、その後に学芸、高知、清和、明德、最近では土佐塾もできた。この学校は全て中高一貫学校である。だから、子どもたちが現在中学校からがんばって、大学に行こうと思ったときに、できるだけ上のレベルの私立学校に行っているのが、高知県の現状だと思う。私たち一般庶民としては、教育の機会を平等にしてほしい、高知県の所得格差がどんどん広がっている現実において、その辺りが教育委員会が一番

	<p>考えなくてはいけないことではないか。この資料をまた後でお読みいただいたら分かるが、そういったところを観点に今回の統廃合案が出されているかどうか非常に疑問に思う。ぜひ、その辺りを検討していただきたい。</p> <p>これから近々、高知県もそうだが、子どもたちがどんどん減っていく。確かに今、40人学級を35人とか、30人学級にすると、1兆円とか、2兆円とかものすごい予算が要る。だから、確かに文部科学省もなかなか踏み切れないだろうが、急速に子どもたちが減っていく時代においては、おそらくこの統廃合の案だと7、8年後になっているが、そのころにはもう具体的に30人学級、もしくは35人学級が当たり前になってくるだろうということはこの本にもしっかり書かれている。その辺りを、教育委員の方にお示しになった上でこういったことが話されているかどうか非常に疑問に思っている。例えば教育委員会が教育のレベルを上げるとすれば、高知南中高校も中高一貫で、今まで12年間やったが、中学校を教える先生、高等学校を教える先生は当然いるが、私立のように中学校も、高校も教えられる先生が必要と考えるが。いったいこの12年間で高知県では何人採用されて、その先生を高知南中高校とか、中村中高校などにどれくらい配置されているのか。また、私立学校のように、最初5年間で6年間のカリキュラムを終わらせ、最後の1年間でいわゆる進学対策の授業を行うことは6年教育で十分できるが、それを今まで実施してきていなかったのはなぜだろうかと。そのあたりの説明も全然無く、統廃合の話ばかりが出て来ている。やはり県民の皆がそれを疑問に思っている。なぜ、あれだけ鳴り物入りでつくった、中高一貫校を無くすのかと。逆に、このいろいろな資料を見ると、これから教育委員会がやらなくてはいけないのは、高知南中高校のような中高一貫高校を高知市の中にあと5校ぐらいつくる、例えば今度の高知西高校にしても、高知小津高校にしても、高知東高校にしても、そうすることによって、少子化対策ができていくのではないかと。それこそ県民が目指している思いではないかとこのデータなどを見ると私は思うが、その辺りは教育委員会として、どのような資料を渡しながらか、話をされたのか、お伺いできるのであればお願いしたい。</p>
事務局	<p>中高一貫高校を高知市内に増やしていくべきではないかというご意見があったが、中高一貫校については東部、中部、西部で維持していくという方針である。仮に高知市内で5校というふうを増やすと、公立中学校への影響もあることから、なかなか実現は難しいのではないかと考えている。</p>
保護者代表	<p>要は少子化対策ということで本来されていたわけで、基本はそこである。ずっとお話になっていたのは、少子化対策ということで、この案は出てきたという認識が違っていたらまた、ものすごく違うが。だから、今言っていることは違うのではないかと。</p>
事務局	<p>少子化対策として、今回の統合をさせていただくということで、中高一貫校を増やすかどうかというのはまた別問題ではないかと思う。中高一貫校を増やすことで、少子化対策の解決になるとは考えていない。</p>

<p>教育長</p>	<p>併設型の中高一貫校については、先ほどから申し上げているように、中部、東部、西部に1校ずつということ。少子化対策での中高一貫校というのは、例えば嶺北であるように、嶺北から実際には高知市内へ進学する生徒が相当多くなっているが、連携型の中高一貫の教育をやることでその中学生に嶺北高校の取り組みを知ってもらい、あるいは嶺北高校からいろいろな形で中学生に情報を伝えていく、あるいは先生が交流をしていくなどで、地元の高校の良さを知ってもらい、地元に残っていただくという意味合いで取り組んでいるところが今、高知県でも増えて来ている。高知県における少子化対策での中高一貫校というのは特に郡部の学校において、これまでもそのような取組をしているし、これからも、増やしていく必要があるのではないかと考えている。</p>
<p>保護者代表</p>	<p>先ほどから僕が言っている意見を少し考えた。それを別案の資料で見てほしい、ここにまず、29年と30年の間に太い線を引いていただいて、32か、33年の間に引いていただければ、イメージがつくかと思うが、この案で先ほどから2年がだめだということであれば、この高知西高校にあった場所に併設される新設の中学校、60名入れるとしているが、これを高知南中学校の方の次の年、30年、もしくは31年に高知南中学校に入れて60人。レベルが違う、方向性が違うということであれば、そこで60人を入れて合わせて120名で、同じ教育をしていくという形。クラス分けによって、英語科に行くクラスという形で進んで行けばどうか。そうすれば、31年、32年と120名体制で、60名、60名であれば、そのまま33年には高知西高校のあった場所に新たな新設の中学校ができるため、そこに皆で、ドンと新しい学校に1年から3年まで移っていくと。高校生については33年から募集停止と書いてあるが、仮にここを160名として、同じく今の高知西高校が、33年度から160名にして、それから2年間やって、35年に高知西高校があった場所に新たに新設された中高一貫校に320名体制で行くと。ただし、320名体制が多いということであれば、2年間の限定という形で1クラス分だけ多くして、その次の年からは280名の定員。グローバル教育科を何名にするとか、普通科を何名にするとか、細かい数字だけの問題であれば、それはまた考えていただければいい。そうしていけば、統合という形で一つの案ができるのではないかと私は思う。まずそういうところから話していくことによって、統合案という方向性が見え、そしてその中で校名、校歌という話も出て来るであろうし、いろいろな対策、いい案も出て来るだろう。欲を言えば、私的には、高知県には県立工科大学、県立大学、すばらしい学校が県にあるので、その附属高校として、附属中学校としての位置づけにできないものかなと思う。</p>
<p>教育長</p>	<p>一つの提案として、受け止める。</p>
<p>川上氏</p>	<p>これは検討してほしい。この2年間の空白の埋め方を考えたので、言わせていただいた。</p>
<p>委員長</p>	<p>ありがとうございました 十分意見がかみ合わないところも当然あるし、我々も考えていかなければなら</p>

	<p>ないこともあると思うが、その辺り、十分検討しながら、前に進んでいけるような形にしていきたいと思う。我々としても、今回、「再編振興」となっており、ただ単に数合わせでなく、この統合の結果を受けて、県立高校としてりっぱな姿を描いていきたいという思いで取り組んでいるので、今後ともご理解ご協力をよろしくお願い申し上げたい。</p>
<p>保護者代表</p>	<p>もう一つ。表現の表記の仕方、まだまだ、中学生、高校生、心に傷を持った者もたくさんいる。新聞発表もそうであるが、やはり統合であり、新設される中高一貫校であるので、その辺の表記の仕方を、子どもたちに対して、保護者に対して、それからOB、それから地域の人々に対しても十分配慮していただければ、この話はスムーズに進めていけるだろうと思う。くれぐれも表現の方法については、高知西高校ではなくて、高知西高校のあった場所にできる学校という形をお願いしたい。とにかく、高知南中高校という形と高知西高校という形、それぞれがお互いに同等レベルでの統合が一番の目的ではないのかと思うので、表現の仕方はとくに注意してほしい、よろしくお願いする。</p>
<p>委員長</p>	<p>長時間に渡って、ご意見頂いた。本当にありがとうございました。</p>